

## 笹田 夏実 SASADA, Natsumi



1995年(平成7年)8月31日生まれ(19歳)。東京都出身。身長152cm。

現所属:日本体育大学1年

得意種目「ゆか」。コーチ:近藤典子、瀬尾京子。趣味:習字。

初めての国際大会:2009年オーストラリアンユースオリンピック

ナショナル入り年:2007年=ナショナルNo. 200。

両親が体操をやっていたこともあり、母の勤める体操クラブで6歳(小学校1年生)から本格的なトレーニングを始める。母親(旧姓:加納弥生)は、幻の1980年モスクワ五輪代表(78、79、81、83年世界選手権代表・79~82年NHK杯優勝・78、80、81年全日本優勝)。2008年、北京五輪代表不在の中、中学1年生ながら全日本ジュニアタイトルを獲得して注目を集める。2010年ユースオリンピックの日本代表として出場したが、あと一步のところまでメダルを逃し涙した。ロンドンオリンピックはけがの影響から、一步及ばず補欠選手となった。その後、翌年の再起を望み、骨折していた右手首を手術。地道なりハビリと基礎練習を続け、2013年に初めて全日本個人総合タイトルを獲得し、世界選手権初代表に。しかし、世界選手権個人総合決勝ではミスを重ねて23位となり悔しい思いをする。大学生となり、仲間との練習で、難度よりもミスをしない練習にシフトし、2014年全日本とNHK杯の2冠を獲得し、2度目の世界選手権に挑む。

## 【国内大会】

- ◆05 全日本ジュニア:Bクラス 13位 ◆06 全日本ジュニア:Aクラス 3位 ◆07 全日本ジュニア:Aクラス 4位
- ◆07 全国ブロック選抜 U12:3位 ◆08 全日本ジュニア:1位 ◆08 全国中学:4位 ◆09 全日本個人:11位
- ◆09 NHK杯:7位 ◆09 全国中学:7位 ◆09 全日本ジュニア:7位
- ◆09 全日本種目別:跳馬 3位・段違い 8位・ゆか 4位 ◆10 全日本個人:2位 ◆10 NHK杯:5位
- ◆10 全日本種目別:跳馬 6位・段違い 2位・平均台 5位・ゆか 2位 ◆11 インターハイ:個人 2位
- ◆11 全日本ジュニア:個人 3位 ◆11 全日本種目別:段違い 1位・平均台 1位 ◆12 高校選抜:14位
- ◆12 全日本個人:2位 ◆12 NHK杯:6位 ◆13 全日本個人:1位 ◆13 NHK杯:2位
- ◆13 全日本種目別:段違い 1位、平均台 2位、ゆか 2位 ◆13 インターハイ:7位 ◆13 全日本ジュニア:個人 2位 ◆14 全日本個人:1位 ◆14 NHK杯:個人 1位 ◆14 全日本種目別:ゆか 8位 ◆14 全日本学生:2位

## 【国際大会】

- ◆09 オーストラリアンユースオリンピック:個人 2位・跳馬 5位・段違い 1位・平均台 4位・ゆか 5位
- ◆09 国際ジュニア:個人 2位・跳馬 7位・段違い 2位・平均台 2位
- ◆10 アジアジュニア:団体1位、個人4位、跳馬4位、平均台6位
- ◆10 イタリア国際:ジュニア団体3位、個人 24位 ◆10 ユースオリンピック:個人 4位、跳馬 4位
- ◆11 コトブス国際:段違い 8位・平均台 4位 ◆13 イタリア国際:団体 3位、個人 12位、平均台 4位、ゆか 4位
- ◆13 世界選手権:個人 23位 ◆13 豊田国際:平均台 1位、ゆか 3位 ◆14 イタリア国際:団体 3位、個人(10)位、平均台 4位

## 寺本明日香 TERAMOTO, Asuka



1995年(平成7年)11月19日生まれ(18歳)。愛知県出身。身長142cm。体操開始年齢6歳。

現所属:レジックスポーツ(中京大学1年)

得意種目「跳馬」。コーチ:坂本周次。趣味:手芸

初めての国際大会:2009年香港国際

ナショナル入り年:2010年=ナショナルNo. 204。

公園の鉄棒で遊ぶことが好きだったことから両親に体操を習うことを懇願。最初は新体操教室を紹介されたがその違いを訴え、名門レジックスポーツへ入会し、体操を始める。段違い平行棒の後方車輪など初めて技ができた時の感激を胸に向上心を高めていった。2011年世界選手権で初の日本代表入り。団体予選の跳馬では演技直前の練習において出場予定でポイントゲッターの選手が負傷退場。オリンピック団体出場権獲得のためには得点を積み重ねるはずの種目で危機が訪れ、急ぎょ、出場し、見事な演技で日本の窮地を救った。2012年、初出場となるオリンピックでも若さあふれる元気な演技で活躍し、個人総合でも日本人最高位となる11位になった。その年の10月、跳馬の助走で転倒し、左手を骨折。しかし、驚異的な回復力を見せ、手に負担をかけない演技構成で年内の平均台の演技を披露した。2013年4月に開催されたワールドカップ東京大会では日本人女子として初めて優勝する快挙を達成。2013年世界選手権でも個人総合9位に入る健闘を見せるが、年末の試合で足首を負傷する。そのけがの影響と、日本のエースとして結果を求めすぎたことで本来の姿を見失いかけていたが、ようやくそれを取り戻し、3度目となる世界選手権でチームのけん引役をめざす。

過去の主な競技成績

## 【国内大会】

- ◆05 全日本ジュニアBクラス個人 17位 ◆06 全日本ジュニア A クラス個人 14位
- ◆07 全日本ジュニア A クラス個人 1位 ◆07 全国ブロック選抜個人 1位 ◆08 全日本ジュニア個人 18位
- ◆08 全国中学:個人 9位 ◆09 全日本個人 19位 ◆09NHK杯:個人 12位 ◆09 全国中学:個人 5位
- ◆09 全日本ジュニア:個人 14位 ◆09 全日本種目別:跳馬 8位 ◆10 全日本個人:9位 ◆10NHK杯:個人 9位
- ◆10 全日本ジュニア:個人 5位 ◆10 全国中学:個人 2位 ◆10 全日本種目別:跳馬 7位、段違い 7位
- ◆11 全日本個人:5位 ◆11NHK杯:4位 ◆11 インターハイ:1位 ◆11 全日本ジュニア:個人 1位
- ◆11 全日本種目別:段違い 3位 ◆12 全日本個人:2位 ◆12NHK杯:5位 ◆12 全日本ジュニア:個人 1位
- ◆12 全日本団体:出場 ◆13 全日本個人:4位 ◆13NHK杯:1位
- ◆13 全日本種目別:跳馬 2位、段違い 8位、平均台 2位、ゆか 6位 ◆13 インターハイ:1位
- ◆13 全日本ジュニア:個人 1位 ◆13 全日本団体:4位 ◆14 全日本個人:2位 ◆14NHK杯:個人 2位 ◆14 全日本種目別:跳馬 3位、段違い 1位、平均台 5位 ◆14 全日本学生:1位

## 【国際大会】

- ◆09 香港国際:個人 1位・段違い平行棒 1位・平均台 3位 ◆10WOGAクラシックジュニア個人 3位
- ◆10 アジアジュニア:団体 1位、段違い 2位、平均台 2位 ◆10 イタリア国際:ジュニア団体 3位、個人 8位

- ◆11 カナダ国際: 個人 3 位、段違い 9 位、平均台 6 位、ゆか 3 位 ◆11 JAPAN CUP: 団体 2 位
- ◆11 世界選手権: 団体 7 位、段違い 5 位 ◆11 豊田国際: 段違い 1 位、平均台 1 位
- ◆12 オリンピック: 団体 8 位、個人 11 位 ◆12 豊田国際: オープン出場 ◆13 W 杯アメリカ大会: 個人 7 位
- ◆13 W 杯東京大会: 個人 1 位 ◆13 世界選手権: 個人 9 位 ◆13 W 杯イギリス大会: 個人 4 位 ◆14 W 杯東京大会: 個人 5 位

## 井上和佳奈 INOUE, Wakana



1995 年(平成 7 年)6 月 22 日生まれ(19 歳)。静岡県出身。身長 155cm。  
現所属: 筑波大学 1 年  
得意種目「平均台、ゆか」。コーチ: 金谷麻理子。  
初めての国際大会: 2012 年オーストラリア招待  
ナショナル入り年: 2012 年 = ナショナル No. 212。

幼少期にウルトラマンに興味を持ち、活発な動きが好きだったことから、自宅近くの体操教室で体操を始める。母親の姉の紹介で移籍した水鳥体操館で力をつけるが、全国レベルの大きな大会への出場にはためらいがあった。2012 年オーストラリアでの国際大会出場機会に恵まれ参加したところ、日本のように張りつめた緊張感の中で行われる試合と違い、観客の盛り上がりによって楽しい雰囲気演技できることに心を奪われる。持ち味である安定性を武器に自分らしい体操に磨きをかけて世界選手権に臨む。

### 【国内大会】

- ◆05 全日本ジュニア B クラス: 39 位 ◆06 全日本ジュニア A クラス: 34 位 ◆06 全国ブロック選抜: 7 位
- ◆07 全日本ジュニア A クラス: 11 位 ◆07 全国ブロック選抜: 4 位 ◆08 全日本ジュニア: 45 位 ◆08 全国中学: 16 位
- ◆09 全日本個人: 予選 34 位 ◆09 全日本ジュニア: 25 位 ◆09 全国中学: 17 位 ◆10 全日本個人: 予選 48 位
- ◆10 全日本ジュニア: 18 位 ◆10 全国中学: 4 位 ◆10 全日本種目別: 出場 ◆11 全日本個人: 16 位 ◆11 NHK 杯: 15 位
- ◆11 インターハイ: 19 位 ◆11 全日本ジュニア: 14 位 ◆11 全日本種目別: 平均台 8 位、ゆか 4 位 ◆12 高校選抜: 1 位
- ◆12 全日本個人: 10 位 ◆12 NHK 杯: 13 位 ◆12 インターハイ: 8 位 ◆12 全日本ジュニア: 1 位
- ◆12 全日本種目別: 平均台 5 位 ◆13 全日本個人: 8 位 ◆13 NHK 杯: 4 位
- ◆13 全日本種目別: 段違い 4 位、ゆか 5 位 ◆13 インターハイ: 73 位 ◆13 全日本ジュニア: 3 位
- ◆14 全日本個人: 4 位 ◆14 NHK 杯: 3 位 ◆14 全日本種目別: 段違い 8 位、平均台 3 位、ゆか 3 位
- ◆14 全日本学生: 3 位

### 【国際大会】

- ◆12 オーストラリア招待: 出場 ◆12 W 杯イギリス大会: 7 位 ◆12 DTB チームカップ: 団体 2 位
- ◆12 アジア選手権: 団体 3 位、個人 4 位、段違い 6 位、平均台 6 位、ゆか 6 位
- ◆13 イタリア国際: 団体 3 位、個人(14)位、段違い 4 位
- ◆13 東アジア: 団体 2 位、個人 4 位、平均台 4 位、ゆか 5 位 ◆豊田国際: 段違い 3 位、ゆか 4 位
- ◆14 イタリア国際: 団体 3 位、個人(19)位、ゆか 6 位

## 村上茉愛 MURAKAMI, Mai



1996 年(平成 8 年)8 月 5 日生まれ(18 歳)。神奈川県出身。身長 147cm。体操開始年齢 2 歳。

現所属:池谷幸雄体操倶楽部(明星高校 3 年生)

得意種目「ゆか」。コーチ:大野和邦。

初めての国際大会:2009 年国際ジュニア

ナショナル入り年:2010 年=ナショナルNo. 205。

両親が体操選手ということもあり、兄に続き、2 歳から体操を始める。子供のころから周りとは違うことをすることが好きで、できない技がたくさん存在する体操競技は、好奇心旺盛の彼女にぴたりとはまり、夢中になっていく。そして、次々と驚異的な技をマスターし、12 歳ですでに後方かかえ込み 2 回宙返り 2 回ひねり(シリバス:現在 H 難度)を演技に構成していた。2009 年全日本種目別では、後方伸身 2 回宙とシリバスを成功させて関係者を驚かせた。2010 年にナショナル入りし、シニアデビューとなる 2012 年ロンドンオリンピックでの活躍が期待されたが、2011 年に左ひじを負傷して戦線離脱。ロンドンオリンピックはテレビでの観戦となった。その後、地道なりハビリとトレーニングが実を結び、2013 年では国内 3 本の指に入るようになり、念願だった日本代表の切符を手にし、2013 年世界選手権では種目別ゆか決勝で 4 位に入る健闘を見せた。今年はさらに上の成績をめざす。

## 【国内大会】

- ◆05 全日本ジュニアBクラス:個人 24 位◆06 全日本ジュニアBクラス:個人 5 位
- ◆07 全日本ジュニア A クラス:個人 20 位◆08 全日本ジュニア A クラス:個人 1 位
- ◆09 全日本ジュニア:個人 4 位、ゆか 1 位◆09 全国中学:個人 1 位◆09 全日本種目別:ゆか 3 位
- ◆10 全日本:個人 10 位◆10NHK杯:個人 10 位◆10 全日本ジュニア:個人 3 位◆10 全国中学:個人 1 位
- ◆10 全日本種目別:ゆか 1 位◆12 全日本個人:11 位◆12NHK杯:個人 6 位◆12 インターハイ:個人 4 位
- ◆12 全日本ジュニア:個人 6 位、ゆか 1 位◆12 全日本種目別:段違い 6 位、ゆか 1 位◆13 全日本個人:3 位
- ◆13NHK杯:個人 3 位◆13 全日本種目別:跳馬 1 位、ゆか 4 位◆13 インターハイ:2 位
- ◆13 全日本ジュニア:個人 5 位◆14 高校選抜:1 位◆14 全日本個人:6 位◆14NHK杯:個人 4 位
- ◆14 全日本種目別:跳馬 2 位、ゆか 1 位◆14 インターハイ:2 位◆14 全日本ジュニア:個人 8 位

## 【国際大会】

- ◆09 国際ジュニア:ゆか 2 位◆10 イタリア国際:団体 3 位、個人 11 位
- ◆10 アジアジュニア選手権:団体 1 位、ゆか 3 位◆12 豊田国際:跳馬 2 位、ゆか 2 位
- ◆13 イタリア国際:団体 3 位、個人 22 位◆13 世界選手権:ゆか 4 位◆13 豊田国際:跳馬 2 位

## 美濃部ゆう MINOBE, Yu



1990 年(平成 2 年)2 月 23 日生まれ(24 歳)。東京都出身。身長 148.5cm。体操開始年齢 5 歳。現所属:朝日生命  
得意種目「平均台」。コーチ:塚原千恵子。趣味:読書、音楽を聴くこと。  
初めての国際大会:2003 年国際ジュニア  
ナショナル入り年:2006 年=ナショナルNo. 187。

小さいころ身体が弱く、幼稚園の近くにあるフィットネスクラブの体操教室(亀戸)に 5 歳から通い始めたのが体操との出会い。その後、中学2年生で参加した全日本ジュニア選手権において個人総合4位に入り関係者の注目を集める。その2年後、2005 年全日本では団体優勝のメンバーとして活躍。以後、朝日生命体操クラブに練習拠点を移し、念願の日本代表の座を、2008 年北京オリンピックで果たした。2010 年、肋骨を疲労骨折し、代表入りを逃したが、2011 年見事復帰。ユニバーシアードでは3つの金メダルを獲得する活躍をみせ、世界選手権においてオリンピック団体出場権獲得に貢献。2012 年 6 名から 5 名になったオリンピック代表の座を勝ち取り、2 度目のオリンピック出場を果たし、団体決勝進出に貢献した。今回の世界選手権では、日本代表として団体戦の経験のない選手が多い中、精神的な柱として期待される。

## 【国内大会】

- ◆00 全日本ジュニアBクラス:個人3位 ◆01 全日本ジュニアAクラス:個人5位 ◆02 全日本ジュニア:個人 23 位
- ◆03 全日本ジュニア:個人4位 ◆03 全日本:個人 18 位 ◆04NHK杯:個人 11 位 ◆04 全日本ジュニア:個人7位
- ◆04 全日本:個人8位 ◆05 世界選手権2次予選:個人 14 位 ◆05NHK杯:個人 13 位 ◆05 インターハイ:個人3位
- ◆05 全日本ジュニア:個人4位 ◆05 全日本:個人9位 ◆06 高校選抜:個人4位 ◆06 世界選手権2次予選:個人 13 位
- ◆06NHK杯:個人 14 位 ◆06 インターハイ:個人 16 位 ◆07 世界選手権2次予選:個人8位 ◆07NHK杯:個人8位
- ◆07 インターハイ:個人2位 ◆07 全日本ジュニア:個人4位 ◆07 全日本:個人8位、平均台1位
- ◆08 五輪 2 次選考会:個人 3 位 ◆08NHK杯:個人 3 位 ◆08 社会人:個人 3 位 ◆08 全日本:個人 5 位
- ◆09 全日本個人:4 位 ◆09NHK杯:個人 5 位 ◆09 社会人:個人 1 位 ◆09 全日本種目別:段違い 2 位、平均台 2 位
- ◆10 全日本個人:33 位 ◆10 社会人:個人 4 位 ◆10 全日本種目別:段違い 8 位、ゆか 8 位 ◆11 全日本個人:9 位
- ◆11NHK杯:個人 7 位 ◆11 社会人:個人 2 位 ◆12 全日本個人:9 位 ◆12NHK杯:個人 2 位 ◆12 社会人:個人 4 位
- ◆13 全日本個人:2 位 ◆13NHK杯:個人 5 位 ◆13 社会人:個人 1 位 ◆13 全日本団体:1 位 ◆14 全日本個人:4 位
- ◆14NHK杯:個人 6 位 ◆14 全日本種目別:平均台 1 位 ◆14 全日本シニア:1 位

## 【国際大会】

- ◆03 国際ジュニア:個人6位、段違い8位、平均台2位、ゆか3位 ◆03 アジアジュニア:団体2位
- ◆03 キャンベラカップ:個人4位、段違い6位、平均台7位、ゆか7位 ◆05 アジアジュニア:団体2位、段違い5位
- ◆07 豊田国際:ゆか8位 ◆08 天津国際:平均台 13 位、ゆか 15 位 ◆08 北京五輪:団体 5 位
- ◆08 アジアシニア選手権:団体 1 位、平均台 2 位 ◆09 日米対抗:出場 ◆09 JAPAN CUP:団体 3 位
- ◆09 豊田国際:段違い 9 位 ◆10 豊田国際:段違い 3 位、平均台 6 位
- ◆11 ユニバーシアード:団体 1 位、個人 4 位、段違い 1 位、平均台 1 位 ◆11 世界選手権:団体 7 位
- ◆11 W 杯東京大会:個人 2 位 ◆11 豊田国際:平均台 2 位、ゆか 1 位 ◆12 オーストラリア招待:出場

◆12 オリンピック:団体 8 位◆12 豊田国際:段違い 4 位、平均台 1 位◆13W 杯東京大会:個人 8 位◆13 ユニバーシアード:団体 2 位、個人 9 位、段違い 6 位、平均台 8 位、ゆか 5 位◆13 世界選手権:出場◆13 豊田国際:平均台 3 位◆14W杯東京大会:個人 6 位

## 平岩優奈 HIRAIWA, Yuna



1998 年(平成 10 年)11 月 21 日生まれ(15 歳)。東京都出身。身長 148cm。  
現所属:三菱養和体操スクール(成立学園高 1 年)  
得意種目「平均台」。コーチ:。林啓太  
初めての国際大会:2013 年カナダ国際  
ナショナル入り年:2014 年=ナショナルNo. 223。

母親の勧めで水泳と体操を始めるが、水泳の練習がつかなく、体操一本にすることを決める。体操開始時の同僚にはユースオリンピック代表の宮川紗江がいる。基礎技術習得に加え、美しさへの感性を磨き、小学 6 年生で三菱養和体操スクールへ移籍。2010 年全日本ジュニア A クラスで個人総合 2 位となり注目される。2013 年に手首を痛め、出場の大会は全日本ジュニアだけに絞り、下半身を中心とした強化と、難度ではなくミスのない美しさを保つ「実施」を重視した取り組みが実り、今年の全日本初日で 3 位に入る結果を出し、質が上がれば得点も上がることを実感する。ロシアのコモワ選手の演技に憧れ、初めての世界選手権で自分の美しさのこだわりがどれだけ評価されるのか楽しみにしていたが、現地での練習で負傷して出場を断念。その夢は次回以降の目標となった。

### 【国内大会】

◆09 全日本ジュニア B クラス:6 位◆10 全日本ジュニア A クラス:2 位◆11 全日本ジュニア A クラス:2 位  
◆12 全日本ジュニア:43 位◆12 全国中学:19 位  
◆13 全日本ジュニア:19 位◆14 全日本個人:3 位◆14NHK杯:11 位◆14 全日本種目別:平均台 1 位

### 【国際大会】

◆13 カナダ国際:団体 3 位、個人 21 位、平均台 6 位、ゆか 5 位

## 石倉あづみ ISHIKURA, Azumi



1998 年(平成 10 年)3 月 13 日生まれ(16 歳)。東京都出身。身長 143cm。体操開始年齢 4 歳。

現所属:ZERO 体操クラブ(ふじみ野高 2 年生)

得意種目「平均台」。コーチ:中濱芳信。

初めての国際大会:2011 年国際ジュニア

ナショナル入り年:2014 年=ナショナルNo. 218。

体を動かすことが大好きで、両親の影響により、兄と共にスキー、水泳、サッカーなどにも取り組んでいたが、体操が自分にとっての中心となっていき、体操一本に絞る。アメリカのショーン・ジョンソン選手のように難しい技でも簡単そうに演ずることを目標に練習に励んでいたが、2012 年の冬に跳馬の助走での転倒で左肘を脱臼骨折する。日本代表としてイタリア国際に出場する直前の出来事で大きな悔しさを味わうが、もっと上をめざすという目標を明確に持つようになる。2014 年、中学生のころからの夢だった団体での全国制覇をインターハイで達成でき、大きな喜びをアジア大会につなげられるよう努力し、団体銅メダル獲得に貢献した。帰国後、中国で調整中の世界選手権代表にアクシデントが発生し、急きょ、交代して出場することとなった。

## 【国内大会】

◆07 全日本ジュニア B クラス:15 位 ◆08 全日本ジュニア B クラス:4 位 ◆09 全日本ジュニア A クラス:14 位

◆10 全日本ジュニア A クラス:5 位 ◆10 全国中学:19 位 ◆11 全日本ジュニア:26 位 ◆11 全国中学:5 位

◆12 全日本予選:38 位 ◆12 全日本ジュニア:19 位 ◆12 全国中学:2 位 ◆13 全日本ジュニア:17 位

◆14 高校選抜:3 位 ◆14 全日本個人:8 位 ◆14NHK杯:5 位 ◆14 インターハイ:1 位 ◆14 全日本ジュニア:9 位

## 【国際大会】

◆11 国際ジュニア:平均台 2 位 ◆12 アジアジュニア選手権:団体 1 位、個人 2 位、平均台 1 位、ゆか 7 位

◆14 アジア大会:団体 3 位、個人 6 位、平均台 4 位